

第4回北区基本構想審議会 部会1「躍動」次第

令和4年2月25日(金) 14時

北区役所別館 2階研修室

1 開会

2 分野別の政策検討シートについて

(1) 地域文化・生涯学習・スポーツ

①意見共有

②検討シート説明

③20年後の望ましい姿について(意見・感想)

3 意見交換

4 その他

5 閉会



1 当該分野の実績と成果

| 項目 | 主な実績 | 主な成果 |
|----------|--|--|
| (1) 地域文化 | <ul style="list-style-type: none"> ドナルドキーン記念事業（ドナルド・キーン記念財団との共催）を実施。 平成27年4月文化芸術活動拠点（ココキタ）を開設。子ども文化教室の実施。 田端文士村記念館では芥川龍之介没後90年を迎えた平成29年より河童忌を復活させイベント・企画展を主催。 区内の小学校中学年向けに、飛鳥山博物館にて展示と昔の道具体験を行う学校対応事業「来て、見て、さわって昔の道具」を実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ドナルドキーン記念事業において講演会36名、スライド&トーク（展示品解説）62名参加、展示10,857名来場（令和2年度）。 ココキタ祭りの参加者数（11団体、2,453名；令和元年度） 子ども文化教室参加者数増加（平成27年度74名→令和2年度98名）。 河童忌イベント来場者数（過去5回延べ4,811名） 学校対応事業 参加校34校、参加生徒数2,138人（令和元年度） |
| (2) 生涯学習 | <ul style="list-style-type: none"> 各種講座や文化センター講座、団体・サークル情報を生涯学習広報誌（年4期）、HP、Twitter等で配信。 高等教育機関や専門研究機関等と連携した講座を実施。（北区スーパーサイエンススクール ほか） 図書館においては、北区に関する歴史入門書の刊行、区民との協働による点音訳や「おはなし会」など事業の実施、ボランティア人材の育成などによる読書活動の支援を実施。 北区青少年委員会と共催し、青少年団体のリーダー養成を実施。小学5・6年生を対象としたジュニアリーダー研修会224人、中学生・高校生を対象としたシニアリーダー研修会148人、青少年団体指導者講習会382人が参加。（人数は平成27年度から令和2年度までの延べ人数） | <ul style="list-style-type: none"> 文化センターの講座参加者数（平成27年度33,371人→令和元年度38,668人） 連携事業件数の増加（平成27年度6件→令和元年度9件） 図書館ではおはなし会等の事業を平成27年度から令和元年度までの5年間で3,506回実施し、延べ75,049人が参加 育成したボランティアやリーダー養成研修会の修了者が講師やアシスタントとして、講座等で活躍するという循環型生涯学習が促進。 |
| (3) スポーツ | <ul style="list-style-type: none"> 全区的、広域的、総合スポーツ大会ができる総合体育館として、赤羽体育館を建設。 バリアフリー整備を実施（区内スポーツ施設8カ所、ことばの道案内（ことなび）12ルート）。 西が丘周辺地区を「トップアスリートのまち・北区」の拠点エリアと位置づけ、街並み整備の実施。（十条駅から西が丘を経由した赤羽駅までの公道を「ROUTE2020*トレセン通り」と命名し、その名称を表示した標識を設置、競技紹介看板の設置。十条駅北口及び赤羽駅西口にPR広告塔設置。稲付西山公園にアスリート手形モニュメント設置。） トップアスリートの育成のため、トップアスリート直伝教室、フェンシング・車いすフェンシング教室を実施。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会でハンガリー事前キャンプを実施した他、ハンガリーのオリンピックによるスポーツ教室やオンライン交流を実施。 平成29年4月北区スポーツボランティア制度を創設。養成講座を実施（延べ588人参加）。 各競技団体・チーム・企業との交流で、JOCパートナー都市協定、区内企業とのパートナーシップ協定、東京ヴェルディとの協定締結や、各競技団体主催の大会の後援・共催が実現。 平成30年1月に総合型地域スポーツクラブ「コムスポたきのがわ」が設立。 障害のある方もない方も楽しめる北区ハートスポーツフェスタを実施。令和元年度からユニバーサルスポーツ体験会を実施。 | <ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設延べ利用者数（平成27年度→令和元年度119,543人増） 「トップアスリートのまち・北区」を推進。区の新たな地域特性・魅力の創出に寄与。 トップアスリート直伝教室延べ2,345人参加、フェンシング・車いすフェンシング教室延べ189人参加 北区ハンガリー応援団員数（令和元年度6名→令和3年度153名） 北区スポーツボランティア制度登録者数（令和2年度170名）。 JOCオリンピック教室実施（令和2年度区内中学生188名参加）、日テレ・東京ヴェルディベレーザ選手と区サッカー協会女子中・高学生との合同練習（令和3年度） 競技団体主催のフェンシング大会（後援）、卓球大会（共催）を区立体育館で実施。 「コムスポたきのがわ」会員数（平成30年度：正会員12名・一般会員2名→令和3年度：正会員18名・レギュラー会員181名） 北区ハートスポーツフェスタ参加者数（延べ2,059名参加） ユニバーサルスポーツ体験会参加者数（延べ501名参加） |

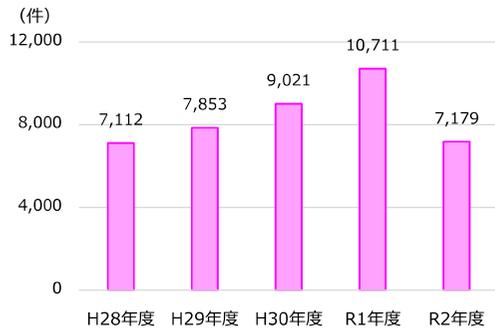
2 当該分野における区を取り巻く環境の変化

| 社会経済動向 | 法制度や国・都の政策の変化 | 区民のニーズや行動の変化 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 文化事業の中止、文化施設の貸出中止など、文化芸術活動も困難な状況が継続。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面による交流機会やスポーツを実施する機会が減少。運動不足に伴う健康二次被害も懸念される一方、オンラインの充実により遠距離の連携など、これまでと異なる事業形態が可能となる。 | <ul style="list-style-type: none"> 国は平成29年6月に「文化芸術振興基本法」を抜本的に改正し、「文化芸術基本法」が成立。基本法では、地方公共団体は文化芸術に関し、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、実施する責務を求めている。 平成31年4月に施行された改正文化財保護法で、「文化財の次世代への確実な継承を目指す」「文化財を観光資源として利用する」の2つの趣旨が提示。 人生100年時代構想では、全ての人に開かれた教育機会の確保や、リカレント教育、新しいことにチャレンジできる社会の在り方が検討され、生涯学習・社会教育の重要性が向上。 令和3年3月「第4次東京都子供読書活動推進計画」を策定。乳児から高校生までの主体的・自発的読書活動推進のため、学校・地域と連携し読書活動の啓発、人材育成等に努める。 国は平成27年にスポーツ庁を設置し、平成29年に第2期スポーツ基本計画の策定、平成30年にスポーツ実施率向上のための行動計画を策定し、スポーツの一層の推進を図る。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の実施（令和3年7月～9月） | <ul style="list-style-type: none"> 区民の文化に触れる機会の減少及びアーティストの活動機会の減少。 新型コロナウイルスの影響により、自宅での動画等の鑑賞が増加。 教育ビジョンアンケート「自分ができることを地域や学校で生かしたいと思うか」という問いに対し、63.9%が「そう思う」と回答 北区区民意識・意向調査（令和3（2021）年度）において、「今後、地域のスポーツ振興のため、区が力を入れるべきこと」として、「区内スポーツ施設の整備」の割合が最も高く44.6%となっている。また、「スポーツ活動に参加する機会の提供（31.9%）」、「総合型地域スポーツクラブの設立支援（25.3%）」と場の提供も求められている。 |

3 区の現状

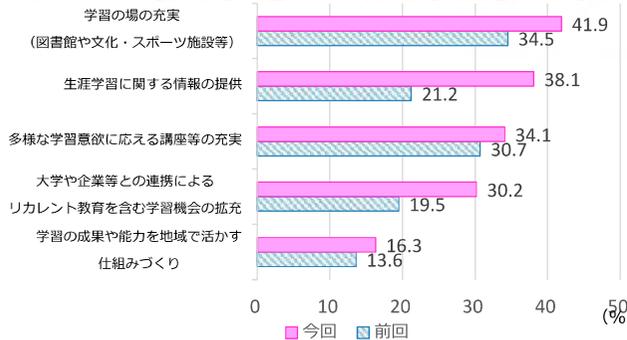
| 項目 | 現状 |
|----------|--|
| (1) 地域文化 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、ココキタの利用者が大幅に減少。文化芸術活動拠点祭等の事業やホール事業の多くが中止。令和2年度は、新型コロナウイルスによって活動ができなくなった主に若手アーティストに対してYouTube配信支援。 区のランドマークである北とびあについて、産業と文化・芸術活動の拠点として充実化を図るため、大規模改修に向けた基本計画を策定中。 (仮称) 芥川龍之介記念館開館に向けた整備。 国史跡中里貝塚は整備基本計画を策定。区内の文化財を指定、街中の文化財周知の説明板設置を継続的に行い、二次元コードの貼付も始動。 |
| (2) 生涯学習 | <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に関する情報提供及び学習相談の実施、高等教育機関や専門教育機関等との連携、図書館の充実化や文化センターの有効活用を推進。 多様な学習方法として、講座のオンライン配信を実施。 学習成果活用の機会を拡充や、区民自らの学習成果を生かし合うボランティア活動を支援。 |
| (3) スポーツ | <ul style="list-style-type: none"> 区立スポーツ施設の老朽化。スポーツ活動に対するニーズが多様化し、区立スポーツ施設の利用者数が増加傾向。 週1回以上スポーツを行う18歳以上の割合(スポーツ実施率)が東京都が57.2%(平成31年2月)に比べ北区は43.4%(平成31年3月)と低位。 障害者スポーツへの関心は「関心がある」の割合が58.5%と高まっている一方、障害者のスポーツ実施率は32.9%と低く、(平成30年度) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした「トップアスリートのまち・北区」推進プロジェクトの引き続きの実施。 |

図表1 ココキタレンタルスペース利用件数



資料：北区資料

図表2 今後、生涯学習を推進するため、区が力を入れるべきだと思うこと(上位5位)



資料：北区民意識・意向調査報告書(令和3年)より作成

図表3 スポーツ実施率



資料：北区資料

※「20代」については18~29歳のスポーツ実施率を表示。

4 今後の課題

- ◆ コロナ収束後における価値観の変化に応じた、文化事業や若手アーティスト支援を検討。
- ◆ 区内の文化財を保存し、多くの人に地域社会固有の歴史や文化に触れる機会を提供して、次世代への継承と活用を進める必要がある。
- ◆ 多様化する区民の学習スタイルに合わせた事業・講座(オンライン講座を含む)の提供。
- ◆ 学習成果を活かすくみづくりや学びを還元できる場の整備の必要性。
- ◆ スポーツ施設の利用者の安全性を確保するため、施設の改築及び大規模改修等を行う。その機会に合わせ、バリアフリー化を推進していく必要性。
- ◆ 運動習慣のない区民が身近で気軽に参加できる場の提供(きっかけづくり)が必要。
- ◆ 障害に応じてスポーツを実施できるようスポーツする機会づくりや指導者の確保等の支援が必要。
- ◆ トップアスリートの練習施設や試合可能な施設を有するという地域特性を活かした施策及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会レガシー活用の検討。

5 取組みの方向性

- 誰もが北区ゆかりの文化、区民の創意あふれる芸術文化や国際文化等の文化芸術を身近に楽しめる環境を整備するとともに、次世代を担う若手アーティストを育成・支援。
- 中里貝塚などの史跡を含めた、区内の文化財保存・活用事業の充実を図る。
- 様々な機関と連携し、多様なツールによる情報提供、学習相談体制を充実させることで、区民一人ひとりの主体的な学びを支援する。
- リカレント教育やオンライン発信を含めた多様な学習機会の創出、学習の場の充実。
- 区民が学習成果を活用できる、関係機関と連携したくみ、学びあう絆をつくる。
- スポーツ施設のハード、ソフト両面において整備・改善を図るとともに、誰もが身近な場所で気軽にスポーツに関わることができる機会を拡充。
- 地域特性を活かすとともに、国内外のトップアスリートや国内競技団体との連携を一層強化し、アスリート情報の積極的発信や国内大会の実施支援・PRなど、スポーツプロモーションを意識した施策の展開及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会レガシーの活用。

6 あるべき姿・将来像

・・・今後の審議会の議論により具体化していきます

北区基本構想策定に向けた ワークショップ等の実施結果

- ・小学生と区政を話し合う会 2～3ページ
- ・中学生モニター 4～5ページ
- ・高校生ワークショップ 6～8ページ
- ・区民ワークショップ 9～12ページ
- ・各ワークショップのまとめ 13～14ページ

小学生と区政を話し合う会

2

【概要】 実施日：令和3年10月25日（月） 16:00～18:00
参加者：区立の小学校13校より、小学5年生、6年生36名が参加
テーマ：「20年後の北区のキャッチフレーズを考えよう！」
内 容：6班に分かれて、グループワーク



■「北区の好きなところ、こうなっていたらよいと思うこと」

- いろいろなイベントを行っていて、みんなが楽しくすごせる
- 道路へのポイ捨てがない。
- 活気があり、人が優しい
- 唾を吐く人がいない。
- 北区から都へ。国へ。国を良くしたい
- 道路や公園にゴミが落ちていない。
- 交通（網）が発達している
- もっと遊べるところが沢山あればよい
- 公園・児童館が多く、他校と交流ができる
- もっと活気があってほしい
- 自然が豊かで、春夏秋冬楽しめる
- 外国人がたくさんいて、北区の魅力が伝わっている
- おいしい料理を食べられるお店がたくさんあること

北区基本構想

■「20年後の北区のキャッチフレーズ」

「自然と共存する町・北区」

「緑が多く 運動のできるまち 北区」

「ゴミ減少 しっかり取り組む 北区民」

「にぎやかでクリーンな町」

「元気 輝き それが北区！」

「輝きたくさん 元気・活気それが北区！」

「多くの世帯で多くの人住める町」

「みんな『あたりまえの暮らし』ができる北区！」

「帰宅したくなる街 北区」

「ぶらっと来たくなる街 北区」

「来たくなる街 北区」

「行きたくなる街 北区」

「明るく楽しく来たくなる街 北区」

「住んで幸せ 北区」



北区基本構想

中学生モニター

【概要】 実施日：令和3年11月27日（土） 10:00～12:00
参加者：区立の中学生7校 13名が参加
テーマ：「20年後の北区のキャッチフレーズと私たちができること」
内容：3班に分かれて、グループワーク



4

■「北区の好きなところ、こうなっていたらよいと思うこと」

- 学校がきれいなところ
- 自然、緑が多いところ
- 公園が近くにいくつもあるところ
- 街並みがすてき
- 都電や飛鳥山など昔ながらの風景を大切にしている
- 歴史を大切にしている
- 交通網が整っている
- 子どもに優しい 子育てに優しい
- ポイ捨てが比較的少なく清潔
- 観光で訪れる人が増えてほしい
- 自然を守りたい
- 公園で球技をしたい
- 電灯を増やしてほしい
- トップアスリートと交流したい
- 学校で芝居、音楽鑑賞の授業を増やしてほしい
- 保育所を増やしてほしい
- きれいな街にしたい

北区基本構想

■「20年後の北区のキャッチフレーズ」「そのためにできること」

| グループ | 課題1 キャッチフレーズ | | 課題2 そのためにできること |
|------|---|---|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全・レトロなまち北区 ・どの世代も暮らしやすいまち北区 | ⇒ | <ul style="list-style-type: none"> S N Sで若い世代へアピール 学校で交通ルールを学ぶ 自治体の活動でのふれあい 北区をまわる 環境を汚さない |
| 2 | <ol style="list-style-type: none"> 1.文化のまちKITAKU 2.交流のまちKITAKU 3.世界の人と北区から 4.北区の緑で街も心もすこやかに 5.北区のまちをキレイキレイ | ⇒ | <ul style="list-style-type: none"> アーティストバンクの活用、演劇祭の広報 ボランティア活動、学校同士の交流、ユニセフ |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが行きたくなるまち、北区 ・全世代に優しいまち、北区 | ⇒ | <ul style="list-style-type: none"> 北区外へアピールする ・インターネットを介した紹介 ・大規模なイベント ・写真コンテスト ・チラシやポスターなどの広報活動 |

【概要】 実施日：令和4年1月21日（金） 17:00～19:00
参加者：区内の高校に通う高校生 5校 12名が参加
テーマ：「高校生のあなたが思う20年後の北区の将来像とわたしたちができること」
内容：事前課題をもとに3班にわかれオンライン上にて意見交換

■「北区の好きなところ」

- のどかで生活しやすい環境
- 住民同士挨拶をるところ
- 治安が良い
- 商店街から大型商業施設まであり、年齢を問わず住みやすい環境
- 環境美化に積極的なところ
- 交通手段に困らない 都電荒川線が通っている
- 公園など多く、自然豊か。史跡を大切に保存している
- 緑がたくさんあり、教育環境がとても良い
- 子育てしやすいまち
- 高齢者福祉や子育てへの施策に力を入れている

■「北区のイメージ」

- 家族連れにやさしい
- 治安が良くて、住みやすい町
- 商店街が多い
- 公園や川沿い町中のある自然
- 電車、バスなどの利便性がよく多くの人が行き来しているイメージ
- 教育、防災、公園などの施設が充実している
- 高齢者が多い
- 都心の繁華街と住宅地の良さが調和している都市
- 都心のベッドタウン



北区基本構想

■「北区の特徴」

- 交通網が整っており、都内外へのアクセスがしやすい
- 日本を代表する企業の工場や本社などが多い
- 緑や子どもが遊べるような公園が凄く充実している
- 公園や博物館、歴史的建造物などがあり、教育環境が良い
- 商店街が賑わっている
- ボランティアなどに出る方が多い(私含め)
- 子育て制度が手厚い
- 年齢を問わずに住みやすいところ
- 通学中に外国人もよく見かけるため、多様化が進んでいる
- 高齢化が進んでいると同時に、認知症の高齢者やひとり暮らしをする高齢者が増えている
- 人と人との関係が希薄であるところ
- 若い人向けというのがない

■「北区の課題」

- 観光地としての人気が少ない（名所などが知られていない）
- 高齢者だけ、若い人だけではなく年齢関係ないものを作る
- もっと子どもが安心して夜道を歩けるように街灯を増やしたり、活気のある町にすること
- 若者が集うような場所、イベント（祭り）を増やす
- ポイ捨てが多い
- 路地裏が夜暗い
- 人と人との関係が希薄なため、災害の時など、公助だけに頼るのではなく、自助・共助のためにも地域との交流が必要ではないか。

■「20年後の理想の北区の将来像」

- 都電荒川線が20年後も走っている
- 交通網がさらに発達した北区
- バイオバスが多く走っている
- 多くの観光客が訪れる北区
- 災害に強い街
- 医療などがより発展し、病気の早期発見などができ、より長生きする人が増える街
- 人と人が普段から助け合える街
- 同世代の人々はもちろん、異なった世代の人々とも交流できる街

■「将来像のためにわたしたちができること」

- 北区についてより詳しく知り、北区の魅力を発信する（SNS学校で共有）
- 北区の良さを友達に話してみたり、北区のイベントに積極的に参加すること
- 学生である私たちが積極的に北区の施設を利用し活気づける

- 高齢者向けの政策や施設の整備も行われれば良い北区
- 安心して歳を重ねることができる北区
- 若者が集まって区のイベントに参加するような町
- 活気があり、子育てに最適な町
- 自然溢れる北区のままであってほしい
- 街灯などで夜でも歩きやすい雰囲気
- 積極的な情報発信がされている
- 外国人への支援体制がより良くなれば全員が住みやすい北区

- 高齢者にも情報が伝わるようにラジオなどで情報を発信
- 地域の方と学校の交流の場を設ける
- 災害の観点に視点がなかった。災害に興味を持っていきたい。

北区基本構想

区民ワークショップ

9

【概要】対象：区民意識・意向調査の対象者及びwebアンケート回答者のうちの希望者 57名申込み

日時： 第1回：令和3年 9月11日（土） 10:00～12:00

第2回：令和3年10月23日（土） 10:00～12:00

第3回：令和3年12月 4日（土） 10:00～12:00

場所：北とぴあ ※第1回のみ緊急事態宣言中のため、オンライン開催



北区基本構想

第1回 全体テーマ「北区のキャッチコピーを考えよう」

参加者：14名（オンライン開催、3グループに分かれてグループ討議）

テーマ1：「北区の好きなところ」

住みやすさ・暮らしやすさ

- ・ 住みやすい、生活しやすい
- ・ 教育環境・福祉環境がよい、子育て環境に魅力がある

自然環境、歴史・文化

- ・ 緑が多い、植栽がきれい、個性的な公園がある、自然空間がよい
- ・ 飛鳥山公園と中央図書館があり、文化水準が高い

交通

- ・ 利便性・交通の便がよい
- ・ 駅がたくさんあり交通の便がよい、アクセスしやすい

自治意識、多様性

- ・ 区民でまちづくりをする雰囲気がある、自治意識が高い
- ・ 外国人との共生、文化の多様性がある

活気・人情、特産品

- ・ 活気、人情がある
- ・ せんべろの街、北区おでん、特産品が多い

テーマ2：「北区のキャッチコピーを考えよう」

- ・ 「歴史、文化、住環境、教育、やすらぎ、よくばりなあなたにぴったりの街」
- ・ 「I（インキュベーション、育）、C（カラフル、彩）、T（タウン、愛着）」
- ・ 「暮らしにやさしい自然なまち」
- ・ 「歴史があるまち」
- ・ 「歴史と可能性を感じるまち」
- ・ 「未来を考える街」
- ・ 「彩どり豊か みんなの北区」
- ・ 「つながりのあるまち」
- ・ 「おでんで北区はあったかい」
- ・ 「ボーダレスタウン・ボーダレスシティ」
- ・ 「都心に近いと知らない人がハマるかも」
- ・ 「誰もが自由に移動できる」

北区基本構想

第2回 全体テーマ「こんな北区になってほしい！」

参加者：20名（4グループに分かれてグループ討議）

テーマ1：「北区の大事にしたいこと、残念なところ」

大事にしたいこと

- ・ 子育てしやすい、物価が安い、治安がよい
- ・ 住民の参加がある、人情味、あたたかみ
- ・ 個性ある地域、あたたかい商店街
- ・ 史跡、祭り、歌、せんべろ
- ・ 緑や自然、個性豊かな公園、街路樹
- ・ 交通の便がよい、移動しやすい
- ・ 国際交流、教育レベル、誇れる図書館、学校・大学

残念なところ

- ・ 知名度が低い、特色が見えにくい
- ・ 坂・段差が多い、ベンチがない
- ・ 風景がさびしい、水害の恐れ
- ・ 王子駅は区の中心なのに、バリアフリー化されていない
- ・ 働く場が少ない、有力な企業が少ない
- ・ ショッピングモールがない
- ・ Wi-fi環境が弱い、電波障害
- ・ 変革望まない区民性、自信がない

テーマ2：「20年後、こんな北区になって欲しい」

- ・ 「タワマンなしで程よく発展！」
- ・ 「創造的な街 課題を抽出して、自ら解決できる」
- ・ 「北区ドリーム」
- ・ 「緑が多くて安全でデジタル化が進んで若者の多い人気の街」
- ・ 「多様な人が生き生き暮らせる！」
- ・ 「包容力のある街」
- ・ 「住みやすい街」
- ・ 「おもしろい街！」
- ・ 「活気ある商店街」
- ・ 「安全で住みやすい街」
- ・ 「安心・安全に仕事もできる！」

第3回 全体テーマ「こんな取組みをしていこう！」

参加者：19名（4グループに分かれてグループ討議）

テーマ：「こんな取組みをしていこう！」

健康・福祉（高齢・障害）グループ

- 北区の福祉行政の見える化と棚卸し
- 高齢・障害についての全ての年齢層への教育推進
- 高齢者も子ども・障害者も集まれるコミュニティ・仕組みづくり
- このテーマに関する予算・人材が少ないのでは？

子育て・教育グループ

- 地域コミュニティで子育て！ IT活用必須
- 地域差のない子育てインフラ
- 多様な子育て家庭をサポート
- 北区のよさを残し、生かした子育て、IT教育・充実は必須、経済支援

産業、観光・シティプロモーション、コミュニティ・文化・生涯学習グループ

- 日常的なイベントによるコミュニティづくり
- 区の共創プラットフォーム化を進める（区民特派員など）
- 市民がつくる北区のラジオ・テレビ・インターネット

防災・防犯、道路・交通、都市計画、環境グループ

- 防災のDX化（町内掲示板デジタル表示、避難情報発信（スマホ等） ★テクノロジーの活用
- コミュニティづくり（公園の活用：防災公園、北区民マルシェ、キャンプできるように、カフェ、北区セントラルパーク）
★協力・助け合いを当たり前

ワークショップ概要（北区のすきなところ）

| | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 区民 |
|------|---|--|--|---|
| 参加者数 | 36名 | 13名 | 12名 | 延53名 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> • いろいろなイベントを行っていて、みんなが楽しくすごせる • 活気があり、人が優しい • 北区から都へ。国へ。国を良くしたい • 交通（網）が発達している • 公園・児童館が多く、他校と交流ができる • 自然が豊かで、春夏秋冬楽しめる • 外国人がたくさんいて、北区の魅力が伝わっている • おいしい料理を食べられるお店がたくさんあること | <ul style="list-style-type: none"> • 学校がきれいなところ • 自然、緑が多いところ • 公園が近くにいくつもあるところ • 街並みがすてき • 都電や飛鳥山など昔ながらの風景を大切にしている • 歴史を大切にしている • 交通網が整っている • 子どもに優しい 子育てに優しい • ポイ捨てが比較的少なく清潔 | <ul style="list-style-type: none"> • のどかで生活しやすい環境 • 住民同士挨拶をするところ • 治安が良い • 商店街から大型商業施設まであり、年齢を問わず住みやすい環境 • 環境美化に積極的なところ • 交通手段に困らない 都電荒川線が通っている • 公園など多く、自然豊か。史跡を大切に保存している • 緑がたくさんあり、教育環境がとても良い • 子育てしやすいまち • 高齢者福祉や子育てへの施策に力を入れている | <ul style="list-style-type: none"> • 生活しやすい • 教育・子育て環境・福祉環境がよい • 緑が多い、個性的な公園がある • 飛鳥山公園と中央図書館があり、文化水準が高い • 駅がたくさんあり、利便性・交通の便がよい • 区民でまちづくりをする雰囲気がある、自治意識が高い • 外国人との共生、文化の多様性がある • 活気、人情がある • せんべろの街、北区おでん、特産品が多い |

ワークショップ概要（20年後の北区のキャッチフレーズや将来像）

| | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 区民 |
|------|--|---|---|---|
| 参加者数 | 36名 | 13名 | 12名 | 延53名 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> 自然と共存する町・北区 緑が多く運動のできるまち北区 ゴミ減少 しっかり取り組む北区民 にぎやかでクリーンな町 元気 輝き それが北区！ 輝きたくさん 元気・活気それが北区！ 多くの世帯で多くの人が住める町 みんな『あたりまえの暮らし』ができる北区！ 帰宅したくなる街 北区 ぶらっと来たくなる街 北区 来たくなる街 北区 行きたくなる街 北区 明るく楽しく来たくなる街 北区 住んで幸せ 北区 | <ul style="list-style-type: none"> 安心・安全・レトロなまち北区 どの世代も暮らしやすいまち北区 文化のまちKITAKU 交流のまちKITAKU 世界の人と北区から 北区の緑で街も心もすこやかに 北区のまちをキレイキレイ みんなが行きたくなるまち、北区 全世代に優しいまち、北区 | <ul style="list-style-type: none"> 都電荒川線が20年後も走っている 交通網がさらに発達した北区 バイオバスが多く走っている 多くの観光客が訪れる北区 災害に強い街 医療などがより発展し、病気の早期発見などができ、より長生きする人が増える街 人と人が普段から助け合える街 同世代の人々はもちろん異なった世代の人々とも交流できる街 高齢者向けの政策や施設の整備も行われれば良い北区 安心して歳を重ねることができる北区 若者が集まって区のイベントに参加するような町 活気があり、子育てに最適な町 外国人への支援体制がより良くなれば全員が住みやすい北区 | <ul style="list-style-type: none"> タワマンなしで程よく発展！ 創造的な街 課題を抽出して、自ら解決できる 北区ドリーム 緑が多くて安全でデジタル化が進んで若者の多い人気の街 多様な人が生き生き暮らせる！ 包容力のある街 住みやすい街 おもしろい街！ 活気ある商店街 安全で住みやすい街 安心・安全に仕事もできる！ |